

# 随筆



## 麺喰い三昧

田崎病院  
仲本 晴男

歳を重ねるにつれ、美味しいものを食べたいという関心が次第に増してきた。炭水化物抜きダイエットが医者を始めとして一世を風靡しているが、子どもの頃から三大栄養素は蛋白質、脂肪、炭水化物と相場は決まっている。近い将来、また見直しが始まるのではないかと期待したい。同じ炭水化物でも、わたしはご飯ではなく、とりわけ麺が好きである。

若かりし時代を思い起こしてみると、当時沖縄そばの話をするると他県出身者から、「これはソバではない。蕎麦粉で作るのがソバだよ。」と教え諭されたものだ。ところが最近では、沖縄そば大好き他県人も相当に増えてきた感がある。日本料理のひとつである日本そばに比べ、沖縄そばは他県どころか、他国のファンも増えているようだ。元々中華そばに由来する沖縄そばなので、その文化基盤を共通する底辺は相当に広いのではないか。

わたしがこよなく嗜好する「首里そば」の店前では、朝11時30分の開店だというのに11時前からすでに十数名の列ができています。雨の日も酷暑の日も例外ではない。たまに11時頃からわたしも並ぶことがあるが、列の前や後ろから聞こえてくるのは大声で早口の中国語である。

かれこれ20年以上前に上海市の、店名は忘れたが大きな百貨店の裏通りにある大衆食堂で、中華そばを食べたことがある。その麺は顔をしかめるほどのニクター、つまりニー（煮る）クター（くたくた、よれよれ）の麺であった。それを食べている彼らが、こんなに固い首里そばの麺をひとことも文句を言わずに食している。そうした首里の奥の住宅街まで、食を

探索する民族のエネルギーには驚嘆する思いがある。

折角の機会なので、麺までたどり着くのが難しい「首里そば」を食する方法を、ここだけの秘密としてお教えしたい。この店は売り切れ閉店の営業なので、通常は14時頃に閉店となる。そこで秘訣は、閉店の10分ほど前に店に行くことである。麺が残っておれば、客は少なく駐車場も空いているので、万事OKということになる。ただし、閉店の札が掛かっておれば、今日は運がなかったと、自分に言い聞かせて諦めることも潔しとしたい。



巨大な沖縄そばモニュメント

わたしの友人である獣医師の平川宗隆氏が、最近出版した「世界に広がる沖縄SOBA」という名著がある。そこで紹介されているブラジルのカンポ・グランデ市は、人口約85万人で、県系人が多く居住する都市だが、2006年から沖縄そばが同市政令で無形文化遺産に認定されている。さらに昨年10月に開催された郷土食コンテストでは、数ある地元料理を押さえて、沖縄そばが堂々一位になり、正式に郷土食として認定されたという。同市では沖縄そばを出す店も100軒をこえるようだ。まさに、世界に発信する沖縄そば！と言えよう。

話が大きくなり過ぎたので、我に返って身近な話題に戻して…。8年ほど前に沖縄そばについて書く機会があった。そのとき6店舗を紹介したが、そのうち半数は、…せっかく誉めたのにすでに店じまいして、残っているのは「首里そば」を含め「しむじょう」と「すーまぬめえ」

の3店のみである。なかなか厳しい飲食業界だと思う。気を取り直して、わたしは麺ならほとんど何でも好きだが、ここでは残った紙面でラーメンを紹介したい。



通堂ラーメン

自宅から歩いて1分ほどの近所に、「琉球新麺 通堂(とんどう)」がある。わたしの定番は「おとこ味ラーメン」である。麺は固い「ハリガネ」を選択するが、麺を噛むときのサクサクとした歯ざわりの心地よさと、喉から落ちるときの微妙な感触はたまらない。初めて汁を飲んだときは、何かハッキリしないゆるい味なので物足りなかったが、回数を重ねるごとに、これが豚骨を十分に煮込んで染み出た味なのだと、納得するようになった。食後に人と会う予定のないときは、醤油漬けた生ニンニクを3、4個取ってたっぷり絞って加えるが、そのときは体中のバイ菌を駆逐しているのではないかとニンマリしながら、ニンニク味の豚骨スープをすすっている。



味千ラーメン

高速道路を名護から那覇に向かう終点近くの中城パーキングエリアに、「味千ラーメン」がある。熊本の大学時代からラーメンは大好きだったが、帰郷した頃は沖縄に美味しいラーメン屋がなく、熊本の老舗である桂花ラーメンを20年ほど取り寄せていた。最近知ったことだが、「味千ラーメン」は、桂花ラーメンの創業者が全国チェーンをめざして設立した店舗で、今では世界に進出しているという。わたし好みの濃い豚骨スープに腰のある固い麺、具にはコリコリした歯ごたえのよいキクラゲと薄切りのチャーシュー、煮たまごが入っている。トッピングとして細かく刻んで揚げたニンニクが備えてあり、自分の好みでたっぷり振りかけるのがミソである。

週末の金曜日、仕事で帰りが遅くなったが、食卓には妻の作ったパスタが待っていた。上にはミョウガとシーチキン、大根おろしがのっている。別皿に薄切りの豚肉と赤、緑、黄色のピーマンの炒め物、小皿にエリンギの塩焼きが添えてある。本場イタリアで食べたパスタは歯ごたえがなかったが、やはりパスタにも程よい腰は必要だと、食べながらしみじみ思った。コースオーナーとして毎年山川酒造から入手する古酒泡盛で喉を潤すと、うま味もさらに倍加する。おいしい料理とお酒を嗜みながらあれこれ夢想する、こころのオアシスを感じるひとときだ。

公務員を退職して2年が過ぎたが、元気に医者続けている。一方、妻も諸活動に忙しくて帰りは遅く、火曜日と水曜日の夕食は別々にしている。そこで外食の機会が増えたので、グルメ街道を更に探索といきたいところだが、大事な人生の課題が残っていることに気がついた。卓球への精進である。年1回の九州医師卓球大会で、団体戦最下位は脱したものの、まだまだ自身の技術には物足りなさを感じている。麺喰いへの執着は程々にして、そろそろ心身のエネルギーを卓球に集中した方がいいかな、と心を整理している今日この頃である。

# ご 注 意 を !

沖縄県医師会理事 徳永義光

## 1. 【金銭交渉について】

医事紛争発生時に、**医師会に相談なく金銭交渉を行うと医師賠償責任保険の適応外となります。**

医事紛争発生時もしくは医事紛争への発展が危惧される事案発生時には、必ず地区医師会もしくは沖縄県医師会までご一報下さい。

なお、医師会にご報告いただきました個人情報等につきましては、厳重に管理の上、医事紛争処理以外で第三者に開示することはありませんことを申し添えます。

## 2. 【日医医賠償保険の免責について】

日医医賠償保険では **補償されない免責部分があり100万円以下は自己負担となります。その免責部分を補償する団体医師賠償責任保険があります。** この団体医師賠償責任保険は医師の医療上の過失による事故だけでなく、医療施設の建物や設備の使用・管理上の不備に起因する事故も補償いたします。

詳細については、沖医メディカルサポートへお問い合わせ下さい。

## 3. 【高額賠償責任保険について】

最近の医療事故では高額賠償事例が増えていることから、日医医賠償保険（1億円の限度額）では高額賠償にも対処できる特約保険（2億円の限度額）があります。特約保険は任意加入の保険となっております。

詳細については、沖縄県医師会へお問合わせ下さい。

### 【お問い合わせ先】

沖 縄 県 医 師 会 : TEL (098) 888-0087

沖医メディカルサポート : TEL (098) 888-1241



# 感 染 症 情 報

## 沖縄県感染症発生動向調査報告状況

(定点把握対象疾患)

疾 病	定点区分	31 週	32 週	33 週	34 週	
		8/5	8/12	8/19	8/26 (定点あたり)	
		報告数	報告数	報告数	報告数	
インフルエンザ	インフルエンザ	98	89	97	83	(1.46)
RSウイルス感染症	小児科	74	66	47	26	(0.76)
咽頭結膜熱	小児科	51	41	33	39	(1.15)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	49	39	31	30	(0.88)
感染性胃腸炎	小児科	132	162	141	144	(4.24)
水痘	小児科	5	14	14	5	(0.15)
手足口病	小児科	129	122	116	119	(3.50)
伝染性紅斑	小児科	1	1	3	4	(0.12)
突発性発疹	小児科	14	12	13	10	(0.29)
ヘルパンギーナ	小児科	41	39	32	23	(0.68)
流行性耳下腺炎	小児科	5	3	5	3	(0.09)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	28	42	40	41	(4.10)
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	2	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	1	3	2	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	1	2	1	0	(0.00)
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	基幹	0	0	0	0	(0.00)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	2	1	(0.14)

- ※1. 定点あたり・・・対象となる五類感染症(インフルエンザなど18の感染症)について、沖縄県で定点として選定された医療機関からの報告数を定点数で割った値のことで、言いかえると定点1医療機関当たりの平均報告数のことです。(インフルエンザ定点58、小児科定点34、眼科定点10、基幹定点7点)
- ※2. 最新の情報は直接沖縄県感染症情報センターホームページへアクセスしてください。  
麻疹の情報も随時更新しております。  
<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjohou/home.html>

## お 知 ら せ

### 文書映像データ管理システムについて (ご案内)

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成23年4月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」(下記URL参照)をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局(TEL098-888-0087 担当:新垣・國吉)までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上omajimusyo@okinawa.med.or.jpまでお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

#### ○「文書映像データ管理システム」

URL: <http://www.documents.okinawa.med.or.jp/>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。